

2021年も大変お世話になりました。2022年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

# 感動県政 あさのめ 新聞

## 埼玉県議会活動報告 2021.12.24 vol. 72

発行 埼玉県議会議員 浅野目義英 〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷2-7-8 TEL:048-762-7133



### 一般質問に立ち、8項目を訴える

1	新型コロナウイルス対策、格差解消に向け総力戦で	知事
2	「戦没者を追悼し平和を祈念する日」になぜ半旗は掲揚されないのか (1) 今年の状況について ア 埼玉県諸施設 イ 県警察諸施設 ウ 県教育施設 (2) 来年について ア 県教育施設 イ 埼玉県諸施設	福祉部長 警察本部長 教育長 知事
3	硫黄島の御遺骨を入間基地で知事が迎えるべき	知事
4	喀痰吸引のニーズ、研修受講者のニーズに答えることができるか (1) 研修場所について (2) 第三号研修の実態について (3) 喀痰吸引に対応した職員の配置について (4) 介護福祉士について	福祉部長
5	街路樹受難の時代を見直せないか～日本一のけやき並木の現状と今後の街路樹整備の考え方について～	県土整備部長
6	タンDEM自転車の公道走行を契機とした利用拡大のための方策について (1) 利用拡大のための周知について (2) 安全運転マニュアルの必要性 (3) 「埼玉県自転車活用推進計画」への位置づけを (4) 交通安全の観点からの課題について	県民生活部長 県民生活部長 県土整備部長 警察本部長
7	分身ロボット OriHime を、けやき特別支援学校で複数台導入せよ	教育長
8	分身ロボット OriHime は、ALS 患者の方など重度身体障害者の方の生きる力に活用できないか	福祉部長

10月4日、私は埼玉県議会において8項目の一般質問を行いました。  
 一般質問の職員不足で不条理に立ち向かう人々を守ることに、コロナの予熱の中、格差解消の方策について、平和を希求し誇りある埼玉県を作り上げることについて、分身ロボットを活用した新しい時代の創造についてなど8項目を訴えました。  
 2p、3pに、その報告を載せました。  
 (質問5・6については紙面の都合で割愛しました)



### 予算要望書・政策要望書を提出

次年度（令和4年度＝2022年度）の『埼玉県予算要望書・政策要望書』を、大野知事へ提出しました。組織、団体、組合、県民、多くの方々から、直接拝聴または、お手紙、メール、オンラインなどで賜りました数多くのご意見を、5つのブロック  
 ①命イノチ・医療、福祉、介護  
 ②誇ホコリ・文化、スポーツ、教育、平和  
 ③緑ミドリ・環境、農林水産、公園  
 ④守マモリ・危機管理防災、警察  
 ⑤巡メグリ・産業労働、県土整備、都市整備  
 にまとめ、予算要望書・政策要望書を作り上げました。埼玉県全体をカバーし埼玉県新時代に向けた、私からの要望は531項目になりました。



視覚障害者の方に有効とされ全国に設置されてきた音響式信号。「カッコー♪」「ピョピョ♪」の音で歩行タイミングを知らせるものを聴いたことのある人も多はずです。

しかし、この音響式信号は実にうるさいという欠点があります。近隣住民の生活からすれば切実な問題であり、音量を下げる、夜は音を消してしまうなどの調節手段が取られたりもしました。

昨年からの問題が出ている交差点の課題に取り組み、埼玉県警察本部と話し合いを積み重ねてきた私にとり、朗報が飛び込んできました。

スマートフォンで信号の色を音声や振動で伝え道路横断を支援する装置を、課題のあったこの「県庁第二庁舎入口」交差点に設置する方針を決めたとの知らせでした。

この高度化PICSと言われる歩行者支援装置は、専用のアプリをダウンロードすると(無料しかも簡単!)、交差点に取り付けた機器から近距離無線通信「Bluetooth」でスマホに信号の色などが伝わり、音声や振動で通知される仕組みです。安全性は飛躍的に向上するはずです。



「県庁第二庁舎入口」交差点

今は浦和区に1か所だけですが、今後全県カバーが増加することを強く要望してゆく決意です。



高度化PICSアプリ画面

### 浦和区に、視覚障害者の命を救うため埼玉県内初・歩行者支援装置高度化PICS

「あの鉄柱は錆だらけで不安」「倒壊の恐れがある」などと、浦和区針ヶ谷二丁目自治会の方々からお声が届けられました。県の道路環境課から市の道路環境課へ連絡を入れて頂き、「1か月以内に撤去します」との回答。錆だらけでポロボロになった交通標識柱が所要時間2時間で静かに撤去されました。大原陸橋東側交差点に立っていたこの鉄柱、倒れたら大変なことになるところでした。

### 劣化した交通標識柱、信号制御機一刻も早く撤去、新設を



「大原陸橋(東)」交差点

# あさのめ 一般質問

質問、答弁はすべて約50% 要約になっています。全文は、埼玉県議会HP、あさのめ公式HPでも全文を読むことができます。動画でご覧になりたい方はQRコードで視聴出来ます。

縮約版



## 01 新型コロナウイルス余熱、格差解消に向け総力戦で

経済学者ピケティは、「21世紀の資本」で、資本の方が所得よりも成長率が大いことを指し、所得格差を指摘した。純金融資産が1億円以上の富裕層は総世帯の2.5%しかいないが、純金融資産額は21%ある。そして、コロナ禍の中、金融緩和が進み資産価値が押し上がり、富裕層への富の集中が進む環境にある。

## 02① 8月15日に、なぜ半旗は掲揚されないのか

政府はポツダム宣言を受諾し1945年8月15日の正午、昭和天皇による玉音放送がラジオから流れ、日本が無条件降伏したことが国民に伝えられた。

### 埼玉県知事からの供花



### 用語解説

DXとは・・・デジタル・トランスフォーメーション (Digital-transformation) のことで、ICT技術やデジタルマーケティング分野でよく使われる言葉です。DXの意味は「デジタルを効果的に活用し提供ができるよう、ビジネスや組織の活動・内容・仕組みを戦略的、構造的に再構築していくこと」です。

## 03 硫黄島の御遺骨を、入間基地で知事は出迎えよ

平成28年6月定例会で、私は当時の上田知事にこのように問いかけた。「硫黄島で収容された御遺骨について。やっとたどり着いた望郷の祖国日本の地で最初に踏まれるのが、入間市・狭山市にまたがる航空自衛隊入間基地であることとを御存じか。1年間かけて収容された御遺骨が、年度末に現地からこの埼玉県にお帰りになる。つまり、長き時間を経て御帰国される地は埼玉県である。帰還地の首長として、このことを無視していいはずはなく、知事から思いを述べてほしい」

## 04① 痰吸引の研修場所 バランスよく拡大しているか

障害者介護で特に注意する介助の一つに痰吸引がある。痰が気道内に貯留していると呼吸困難窒息など、命に関わる問題になる。医療的ケアが必要な重症心身障害児・者の方、またALSの患者さんなどが安心して在宅生活を続けていくには、不可欠なものだ。介護職員でも法の一部改正で平成24年4月から、一定の条件の下で行為が可能となった。併い、介護職員には研修が必要となった。

## 07 分身ロボット「オリヒメ」を、けやき特別支援学校に複数導入せよ

20世紀を代表する思想家、ハイエクは次のように語っている。「ある体の弱い子供が、ある社会においては、他の社会よりも多く生き延びるチャンスを持っているかどうかは、その社会の構造に関わることだ。その子の生理的特性によるものではない」

### 県立けやき特別支援学校



習する  
習が進  
習が一  
習も  
習うに  
習う  
習元  
習学  
習る。

### 分身ロボット「オリヒメ」の活用で、入院中の児童生徒が

このロボットは、入院中の児童生徒が、まるで教室にいるかのように授業に参加したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることが可能となった。また、以前在籍していた学校に配置し、入院前のクラスメイトと交流するなど、円滑に復学する準備にも活用している。

先の大戦の戦没者は310万人、何より大切な家族を失った、家など財産を失った、人生が大きく変わってしまった、そんな日本人もたくさんいた。そんな埼玉県民もたくさんいた。悲惨な結果の戦争でもあった。

8月15日には、政府主催による全国戦没者追悼式が行われている。政府は、式典当日は、国立の施設には半旗を掲げることとし、地方公共団体にも同様の措置をとるよう勧奨している。

今年8月15日の埼玉県の半旗の掲揚状況はどうだったのか。まず、埼玉県諸施設の状況について、お答えを頂きたい。

**02② 今年、県警察諸施設はどうだったか?**

原和也 警察本部長

今年8月15日には、掲揚塔を有する警察本部の各庁舎と警察署の49のうち46で半旗を掲揚した。

**02③ 今年、県教育施設はどうだったか?**

直芳 県教育長

働き方改革を進めるため、文部科学省から、夏休みなど長期休業中の期間に学校閉庁日を積極的に設定するよう求められ、今年8月15日に半旗掲揚を行ったのは県立学校では176校中2校だけだ。

**02④ 来年、県教育施設はどうだったか?**

警察はほぼ全施設で掲揚。けれども埼玉県施設ではほぼ掲揚なし。県立学校は掲揚が僅か2校。埼玉県のほとんどの施設と学校の空には、半旗が掲揚されなかった。理由は、今年8月15日は日曜日であったため、雨が降っていたため。実は、昨年8月15日であったため、埼玉県庁では掲揚がなかったが埼玉県浦和合同庁舎では掲揚がなかった。浦和合同でも掲揚がなかった。ほとんど掲揚されなかったことを私はこの目で見ています。働き方改革で、土日は掲揚する職員がいない、そのことを私は批判はしない。雨だから掲揚できなかった、そのことも非難はしない。

しかし、8月15日に、先の大戦の戦没者を追悼し、反戦の意思を強く示すことは、埼玉県にとり重要なことではないか。掲揚状況が場所により、天気により、曜日より、濃淡があつてよいのかと問いたい。

県立学校の中で高校2校だけが掲揚された。川口北高草加高の2校だ。雨にぬれた半旗を見つめた2校の周辺の方々は、ああ、今日は8月15日なんだという思いに至った方もいたはず。2校の校長先生は「掲揚するべきと思つた」と話されている。

来年の8月15日は月曜日だったが、半旗について工夫はできないのか、教育長、答えてほしい。

**02⑤ 来年、埼玉県諸施設はどうだったか?**

直芳 県教育長

戦後76年が経過し、戦争を知らない世代が多くなっている。8月15日に戦没者を追悼し、平和を祈念することは大切なこと。

来年の8月15日には、県立学校で半旗を掲揚するよう働きかけます。

**02⑥ 来年、埼玉県諸施設はどうだったか?**

大野知事

県の施設で半旗掲揚を行うことは、戦没者への追悼の思いと恒久平和を願う県としての意思の表れと考える。

今後は8月15日のような特別な日には、休日であっても掲揚したい。

用語解説

半旗とは・・・

国旗などを旗ざおの先から三分の一から半分ぐらい下げられ掲げる旗のこと。東日本大震災3月11日には追悼の想いで弔意を表すため日本中で掲げられている。阪神淡路大震災の起きた1月17日にも弔意を示すため日本中で掲げられている。また、長崎市では8月9日(原爆の日)にちなみ、市内小中学校で毎月9日に校旗や国旗を半旗にする運動が、県原爆被爆教職員の会の提案で広がっている。



吉川福祉専門学校より写真提供  
喀痰吸引の研修の様子

**04② 第三号研修の助成金充実させよ**

山崎達也 福祉部長

特定の利用者に対して、特定の喀痰吸引などの医療行為を実施することができるとして、高額の研修費用の助成制度に市町村へ働き掛けをしてほしいなどの提案を当時している。充実してきているのか。

その他、研修機関への通いではなく、施設等に講師を派遣して研修を行う機関も新たに7か所増え、地域のバランスもとれてきている。

受講定員は、平成26年度の708名。令和2年度は1501名と倍増している。

**04③ 痰吸引に対応した職員少ない拡充せよ**

山崎達也 福祉部長

実態を明らかにする必要がある。登録機関の数は充実されたが、その実態が不安な内容では、利用者にとり困ったことだ。

こういふことだ。登録されている重度訪問介護事業所一覧を見て連絡をしても、登録しているだけで、実態は、重度訪問介護事業所の営業はしていない。また、営業していても、痰吸引に対応しない事業所がほとんど。部長、こんな不条理なことはあっていいのかわからない。痰吸引可能な施設を一生懸命探しても、それがなかなか見つからない。命と希望に関わることだ。吸引できる人を増やしてほしい、そのことを私は強く思う。

**04④ 痰吸引必要とする人、不利益にするな**

山崎達也 福祉部長

議員から痰吸引に対応している重度訪問介護事業所が少なく、非常に困窮している方がいらつしやるとお話を頂いた。

痰吸引を必要とする障害者の不安を取り除くため、同事業所に対し、所属職員に研修を受講させるよう働きかけ、喀痰吸引に対応できる事業所の拡充を図っていく。

人数はちゃんとそろっているか、バランスよくなっているのか、そしてこの経費については補助ができるのかなど、様々な問い合わせをしてきた。埼玉県福祉行政のトップとして、痰吸引を必要とする人が不利益にならないように。その一言をいただきたい。

痰吸引を必要とする方が、困ることなく、そして不利益になることなく、地域で安心して暮らしていけるような環境を整えていくことが何よりも重要。

痰吸引に対応できる事業所の拡充、介護福祉士実務者研修を修了している方への周知による、痰吸引に対応できる人材の養成など、積極的に取り組む。

用語解説

分身ロボット「OriHime」とは・・・

吉藤健太郎氏(34)が学生時代に開発した遠隔でコミュニケーションができるロボット。カメラ、マイク、スピーカーが搭載されている。埼玉県教育委員会は「テレプレゼンスロボット・オリヒメ」と呼び答弁したが、ここでは「オリヒメ」と統一した。医療、教育、テレワークなどで活用が進められている。



用語解説

埼玉県立けやき特別支援学校とは・・・

埼玉県立小児医療センターに入院している小中学生が、学ための病弱特別支援学校。同センター7階に開校している。体調や治療にあわせて学められ、注射などの治療が必要な場合や昼食時にはエレベーターで学校と病棟の間を効率よく行き来することができる。入院前と変わらず学校生活を送れるように、また退院後にも校へスムーズに復帰できるように、様々な配慮がされている。

08

分身ロボット「オリヒメ」は、ALSの方など重度身体障害の方の生きる力に活用できないか

ALSは、徐々に全身の筋力が弱くなる病気だ。自分で食事や呼吸ができなくなる。治療法は対症療法。延命治療、つまり気管切開の呼吸器装着しかない。装着しなければ死を意味するし、装着すれば生を手の中に入れることはできるけれども、絶え間のない絶望から離れることはできない。

患者さんは、埼玉県で535人、日本では約1万人。呼吸器をつけなければ生きられない、つけなければ生きられない。延命希望の方は2割台。理由は先ほど話したとおり。執行部の皆さん、呼吸器をつけるか。厳しい現実を前に、私は肅然とさせられる。希望の光、就労の光、生きがいの光をどうやってたらかざすことができるのだろうか、私はいつも思う。

群馬県庁は、総務部財産有効活用課が主導し、ALSなど重度障害の方が自宅等から「オリヒメ」を遠隔操作し、県庁32階のカフェのスタッフとして働いている。東京都港区は、障害者福祉課が主導し、7月から、重度障害などで働くことが難しい方を対象に、区役所1階の福祉売店で、「オリヒメ」を使った就労機会の創出事業が始められている。

神奈川県庁でも、移動が困難なALSをはじめとした障害の方が「オリヒメ」を使った在宅勤務により、福祉ショップへの来訪者に案内や声かけを実施した。我々が目指さなければならぬ未来社会は、重度身体障害者でも、難病でも、様々な理由で家から出られない状況の人でも、子供でも、存在や役割を得て、誰かに必要とされている、自分はそのために必要としている、自分は生きていくを自覚できて、自分を否定しなくなる社会ではないか。

通勤が難しくても、ベッドの上でも、在宅なら働ける。そういったALS患者さん、肢体不自由の方も多いはず。移動が不可能でも、行きたい場所、行かない場所、行かない場所、この「オリヒメ」を置けば、その場にいるかのようなコミュニケーションが可能で、就労の可能性が広がる。

新しいテクノロジーを活用した、障害者の方々の絶望から脱却した社会参画、就労の支援を埼玉県として行うことで、共生社会の実現を図ることはできないか、新しいロールモデルを構築できないか、福祉部長から答弁を求めたい。

議員お話しのとおり、重い障害があつても社会参加や就労につながることで、希望や生きがいをもちたいと考える。それは、誰一人取り残さない社会の実現につながるものだと考える。

県は、「オリヒメ」をデジタル技術を活用した障害者の社会参画促進の方策の一つとして研究していく。民間や他県の活用例を把握し、ロボット開発者、障害当事者、就労継続支援事業所、企業の方々の意見をお聞きし、県デジタルトランスフォーメーション推進計画を踏まえた具体的な取組として、検討していく。

重い障害の方が希望と生きがいを持ち、社会の中で自らの能力を発揮することができるよう、積極的に取り組む。

日時

2022年 令和4年 2月5日(土)

開場 17時30分 開会 18時00分 閉会 19時45分

第20回

# あさのめ 県政報告会

コロナ感染防止対策徹底

第20回 県政報告会 埼玉県議会議員 浅野目 義英



あさのめ・よしひで 1958年東京都生まれ。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。

さいたま市隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。地縁血縁の無い中で市議連続4期当選(25~41歳)。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮪井屋でひたすらマグロを切る仕事、代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経る。

2007年、埼玉県議会議員選挙トップで初当選。以来4期連続当選。埼玉県庁の中に6,400㎡の緑の広場を、埼玉会館北側に2,700㎡の憩いの広場をつくらせる、全盲の中学校教師を現場に戻す、児童養護施設出身者が埼玉県立大学へ進学できるよう道筋をつけるなど、必ず成果を上げる実力派県議として知られる。

## 会場 ロイヤルパインズホテル浦和

● さいたま市浦和区仲町二丁目5-1 4Fロイヤルクラウン

会費 **無料** お身体ひとつでお出ましく下さい。寒い季節でございます。暖かい服装でお越しくださいませ。

適切な感染防止の措置を講じて注意を図りながら開催させて頂く所存です。30分に1回の換気休憩をします。お隣と1.5mの距離をとります。



会場案内図



### あさの目の眼

寒くなってきました。台所やこたつの上など、家の中にみかんのあふれる冬の風景が見られているはず。芥川龍之介に『蜜柑』という小品があります。教科書で読んだという人もいるかもしれません。主人公は憂鬱な気持ちで列車に乗っていました。他には誰もいません。そこへ十三、四のいかにも田舎者らしい娘が風呂敷を抱えながら主人公の前に座りました。トンネルに入ると娘は必死に窓を開けようとし、ついに窓が開けられ蒸気が走っていた列車の車内へどす黒い空気が一気に流れ込みました。主人公はむせかえり怒りが満ちてきます。トンネルを抜けてから窓の外が途端に明るくなると列車は踏切に差し掛かりました。そこには三人の子供が手を振っているのが見えました。



その時、娘は風呂敷の中から取り出した「蜜柑」を窓から投げました。五つ六つ宙に舞った蜜柑に両手をあげ、三人は小鳥のような歓声を上げました。娘はおそらく家が貧しいために奉公に行くのであり、弟へ別れのみかんを放ったのでしよう。大正八年、約百年前の日本の風景です。埼玉県では一四三トンのみかんが生産されています。寄居町には約四百年前、小田原から移植された歴史あるみかんが栽培されています。青空の下、みかん狩りで賑わっている子供たちの声が、百年の時空を超えて、弟たちの小鳥のような歓声にゆっくりと交わってゆきます。

お世話になっております。ご意見などお待ち申し上げます。下までお願いいたします。

埼玉県議会議員 浅野目 義英  
**あさのめ事務所**

〒330-0075  
さいたま市浦和区針ヶ谷 2-7-8  
urawajimu@asanome.com

電話 048-762-7133  
FAX 048-762-7144

令和4年2月5日(土)開催予定  
第20回あさのめ県政報告会中止(延期)について

新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、埼玉県内全域で、「まん延防止等重点措置」が適用されています。期間は令和4年1月21日(金曜日)午前0時から2月13日(日曜日)午後12時までとなっております。

これらの諸情勢を十分勘案し、誠に残念ではございますが、「第20回あさのめ県政報告会」の開催を中止し、後日、オンライン(録画)開催とさせて頂く決断をいたしました。

すでにご出席のご連絡を頂いていた方々、ご検討頂いておりました皆様には大変申し訳なく思っております。何卒ご理解のほど伏してお願い申し上げます。

厳しい寒さが続きます。ご自愛くださいませ。

埼玉県議会議員 誘野目 義英

県政報告会でお話させて頂いたかった内容の一部



2022年1月(群馬県庁32階カフェ)  
【ALS患者さんが遠隔操作で働く様子を調査】

昨年10月、「分身ロボットオリヒメをALSの方など重度身体障害者の生きる力に活用せよ」との質問をしました。

新しいテクノロジーを活用した、障害者の方々の絶望から脱却した社会参加、就労の支援を果たす先進的な行動をこれからも訴えていきます。

2022年1月21日  
【浦和駅で大野知事と「お願い」に立つ】

埼玉県では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1月21日から、改正特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」適用がスタートしました。繰り返しの忍耐を、県民の皆さんに求める辛いお願いですが、守らなければならないもののため、大野知事と駅頭からお訴えをさせて頂きました。



郵便はがき

埼玉県議会議員 浅野目 義英

あさのめ事務所

〒330-0075 選挙区浦和区・無所属  
さいたま市浦和区針ヶ谷2-7-8

電話 048-762-7133

FAX 048-762-7144

urawajimu@asanome.com

 YouTube

3300075



<http://asanome.com>

## 埼玉県議会議員

### あさのめ県政報告(2022年2月号)



2022年1月 (群馬県庁32階カフェ)  
【ALS患者さんが遠隔操作で働く様子を調査】

昨年10月、「分身ロボットオリヒメをALSの方など重度身体障害者の生きる力に活用せよ」との質問をしました。

新しいテクノロジーを活用した、障害者の方々の絶望から脱却した社会参加、就労の支援を果たす先進的な行動をこれからも訴えていきます。

2022年1月21日 (浦和駅東口)  
【浦和駅で大野知事と「お願い」に立つ】

埼玉県では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1月21日から、改正特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」適用がスタートしました。繰り返しの忍耐を、県民の皆さんに求める辛いお願いですが、守らなければならないもののため、大野知事と駅頭からお訴えをさせて頂きました。



郵便はがき

埼玉県議会議員 浅野目 義英

あさのめ事務所

〒330-0075 選挙区浦和区・無所属  
さいたま市浦和区針ヶ谷2-7-8

電話 048-762-7133

FAX 048-762-7144

urawajimu@asanome.com

 YouTube

330 0075



<http://asanome.com>



令和4年度（2022年度）  
埼玉県予算・政策要望書

**感動県政**

埼玉県議会議員  
**浅野日 義英**  
(無所属)

# 目次

- 1 **命/イノチ** 医療、福祉、介護 …… 4
- 2 **誇/ホコリ** 文化、スポーツ、教育、平和 …… 14
- 3 **緑/ミドリ** 環境、農林水産、公園 …… 22
- 4 **守/マモリ** 危機管理防災、警察 …… 30
- 5 **巡/メグリ** 産業、県土整備、都市整備 …… 37

私たちが目指す未来社会に到達するために

新型コロナウイルスによる危機は、埼玉県に様々な対応力の教訓を与えました。

伴う所得格差の拡大・固定化をこれ以上進めてはいけないという認識もその中で生まれてきました。

また、デジタル技術の活用が飛躍的に拡大・浸透し、人々の生活に寄与してきました。

正に新しい時代の扉を開ける契機ともなりました。

こうした歴史の変革期のただなかに立つ県政運営に対して、『命・誇・緑・守・巡』の5分野で約600項目の「埼玉県予算・政策要望書 感動県政」を大野知事へ提出させて頂きました。

県議会議員の仕事は、県の現状とまた未来についての問いかけを、県当局へすることと確信しています。



大野元裕・埼玉県知事に令和4年（2022年）度「埼玉県予算要望書」を提出する。  
(令和3年11月16日)

# 命 / イノチ

## 医療、福祉、介護

命を救え!みんながわからなければならない。  
「命こそ、はかなく、かけがえの無いもの」を心に刻む  
当たり前の社会。  
仕組、体制と担い手の確保をきちんとし、何としてでも  
命を救え。貧困を救え!

### 第1 県民へ高度専門医療を提供し、医療水準の向上果たせ

#### 1 県立循環器・呼吸器病センター（熊谷市板井1696）

- (1) 脳卒中や心筋梗塞などの患者の積極的な受け入れ
- (2) 県北地域の急速な高齢化に対応した医療機能や専門領域の救急医療の充実
- (3) 医療従事者対象の公開研修の実施
- (4) ホームページを駆使した積極的な情報発信せよ

#### 2 県立がんセンター（北足立郡伊奈町小室780）

- (1) 遺伝子情報に基づくがんの個別治療の1つ「がんゲノム医療」の推進
- (2) 患者さんの負担が少ない手術支援ロボットの使用など先進的ながん治療の実施
- (3) がん以外の正常組織へ影響が最小限に抑えた高精度放射線医療の実施
- (4) がん患者の治療と仕事の両立に向けた支援
- (5) 臨床腫瘍研究所の研究活動の支援
- (6) がん患者は、がん自体の症状の他、痛み、倦怠感などの様々な精神的困難も経験する。そういった苦痛を和らげるためのケア=緩和ケアを充実させるべき
- (7) ホームページを駆使した積極的な情報発信せよ

#### 3 県立小児医療センター（さいたま市中央区新都心1番地2）

- (1) 総合周産期母子医療センターとして、さいたま赤十字病院と提携した医療の推進
- (2) 早期発見、後天性代謝異常などの検査実施
- (3) CAR-T細胞療法（キムリア）をはじめとした先進的医療の充実
- (4) 小児・AYA世代に対する教育、就労の充実
- (5) ホームページを駆使した積極的な情報発信せよ

#### 4 県立精神医療センター（北足立郡伊奈町小室818-2）

- (1) 児童思春期精神疾患の高度専門医療の提供
- (2) 自傷他害の恐れのある急性期の患者へ救急医療を提供
- (3) アルコール、薬物、ギャンブル障害など依存症に係る高度専門医療の提供
- (4) ホームページを駆使した積極的な情報発信せよ

### 第2 健康で安心して生きられる医療体制つくれ

#### 1 4つのセンターを中核として、県民の命と健康を守りぬき、県民の安心を高めよ

- (1) 総合診療医の育成・活用
- (2) 地域連携の強化・実現
- (3) 埼玉県総合医局機構（県・医師会・大学等）の充実で、医師不足、地域偏在の解消図れ
- (4) 適切な受診行動の推進
- (5) 医療スタッフの業務の効率化、業務負担の軽減を図れ

- (6) 医療スタッフの夜勤改善など勤務環境と処遇改善せよ
- (7) 診療記録管理による診療情報共有の取り組み進めよ
- (8) 現在10カ所。生命の危機が切迫している重篤患者に対応する救命救急センターをさらに設立せよ



救急救命センター（さいたま市立病院）

- (9) 大学附属病院、医学系大学院の整備支援
- (10) コ・メディカルの活用を進めよ
- (11) 「埼玉県救急電話相談（#7119）」の充実を図れ
- (12) 「埼玉県AI救急相談」の充実を図れ

### 第3 感染症対策、戦略的体制に

新型コロナウイルスによる感染拡大は、経済活動中や県民生活に深刻な影響を及ぼし、体制の脆弱さを鮮明にした

#### 1 感染症即応へ司令塔を構築せよ

- (1) 感染症発生時の初動体制の整備
- (2) 感染症の流行防止と拡大抑止
- (3) 感染症急拡大時、感染症病床融通など医療体制の整備
- (4) 感染症病床確保計画は甘さが目立つ、見直しを

#### 2 障害者介護の介助の略痰吸引に、様々な配慮を

- (1) 研修受講のための費用軽減図れ
- (2) 登録研修機関をバランスよく増やせ
- (3) 研修指導者を十分確保せよ

#### 3 重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大

- (1) 精神障害者保健福祉手帳2級保持者まで対象にせよ
- (2) 精神科への入院時の医療助成制度を対象にせよ

### 第4 命の尊厳を社会（地域）全体で守れ

#### 1 子供の貧困に向け強い決意の取り組みを

相対的貧困状態の子供の割合13.5%、7人に1人を見つめなければならない

経済的な理由で色々なものを断念する学力低下を防げ。困っている時（緊急時）に相談できる人をつくれ。自己肯定感を養うための「居場所」づくりに努力を傾けるべき

- (1) 学習支援事業（アスポート）の全市町村実施
- (2) 子ども食堂などを行っている民間団体への支援
- (3) 子ども食堂などを行っている民間団体と企業やフードバンクとの連携
- (4) 「こども応援ネットワーク埼玉」の充実
- (5) 個人、団体、企業からの「こども食堂応援基金」の充実
- (6) 誰もが訪れやすい子ども食堂の企画をし数を増やしていけ
- (7) プレイパークの充実

#### 2 フードパントリーをより飛躍させよ

企業や農家などから寄付される食料を、無料でひとり親家庭や生活困窮者などへ直接配布する活動を広く定着させよう

- (1) フードパントリー開設の説明会の実施と広報での周知進めよ
- (2) 1人親家庭、生活に困っている人々へ無料で食料を配布するフードパントリー加盟団体を支援せよ

### 3 児童虐待は社会全体で取り組みゼロへ

幸せになるために生まれてきた幼い命を奪う非道さを絶対に許さない社会を。気づきにくい事件から救い出せ



- (1) 養育者の「養育能力の低さ」に起因する殺害が多いことを認識せよ
- (2) 地域の見守り、外部の民間団体を活用した家庭訪問など発生予防力の向上
- (3) 児童虐待相談窓口運用の充実
- (4) 発生時の即時対応と的確連携
- (5) 心の明るさ、身体の健全を取り戻し、希望に満ちた新しい日常を手に入れるために、被虐待児への支援
- (6) 防止のための人権教育の周知と充実

- (7) 児童養護施設の中核市への設置促進要望
- (8) 児童相談所の体制強化

## 第5 ひとりぼっちを救え

### 1 児童養護施設の高機能化、多機能化進めよ

家庭で親に育てられる子どもの権利は、子どもの権利条約第5条、18条に明示されている。

しかし現実には夫婦は3組に1組の割合で離婚。権利が奪われた子どもの権利保障を。

保護者不在、虐待、貧困などの理由で温かい家庭で育つことのできない子どもたちは、愛情と信頼感のある家庭的な環境で安定した心で育てられることが必要

- (1) 施設出身者の進学率高めよ
- (2) 埼玉県立大学への進学の夢支援施策構築せよ
- (3) 未来のため丁寧な進学の夢を果たすため指導と資金支援を
- (4) 心理的ケアが必要な児童などの受入れを促進せよ
- (5) 18歳以降の措置延長制度の積極的活用せよ
- (6) 実親の代わりに深い愛情で育てくれる里親が必要。里親委託制度の推進
- (7) 児童養護施設や里親家庭で育った人「社会的養護経験者（=ケアリーバー）」は、経済的問題や人間関係などに不安を抱える人が多い。彼らに自立支援のための公的支援を広げよ。
- (8) 子どもシェルターへの支援



児童養護施設いわつき

## 第6 誰もが等しく共に生きられる社会をつくれ

### 1 障がい者（児）の自立と生活支援を進めよ

- (1) 障がい者（児）へ対する偏見や差別の根絶、合理的配慮の提供
- (2) 障がい者（児）雇用へ対する偏見や差別の根絶
- (3) 却下が多い特別児童扶養手当の支給の可否を決める審査基準の曖昧さの研究を求める

### 2 視覚障がい者（児）への対応

目の不自由な人に見える力を与えよう

- (1) 鉄道駅のエレベーター、スロープ、トイレなどの補助金交付

- (2) ホームドア、内方線付き点状ブロックの整備補助金交付
- (3) ノンステップバス導入支援
- (4) 交差点において安全に道路横断ができるように、高度化PICS（歩行者等支援情報通信システム）の運用拡大進めよ



「県庁第二庁舎入口」  
交差点の高度化PICS

- (5) 電子書籍、テキスト読み上げアプリ、点字ディスプレイなど読書環境の整備

## 3 聴覚障がい者（児）への対応

- (1) 手話の普及と手話を使う環境整備
- (2) 「ことばの学級」などへの支援

## 第7 愛ある動物保護政策を

### 1 人と動物がともに生きる社会の構築

命という視点からも、人の心を癒すという観点からも、ただ殺すだけの政策からの脱却を急げ  
飼いがいないものの地域住民の認知と合意の上で共同管理されている猫のために、不妊去勢手術をするなど地域猫活動などに取り組む市町村への助成

- (1) 犬、猫の殺処分ゼロに向け急いだ対応
- (2) 保護犬、保護猫などの譲渡会の開催の支援
- (3) 特定の
- (4) 動物取扱業へマイクロチップ装着義務化を指導
- (5) 動物愛護推進員制度の充実
- (6) 社会参加のための大切なパートナー補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬、セラピードッグ）の同伴入場について社会的気運の醸成と推進

## 第8 難病対策強化せよ

### 1 希望が湧く難病対策を、ポリオの根絶を

網膜色素変性症（RP）、潰瘍性大腸炎（IBD）、クローン病多発性硬化症（MS）など原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち特定の疾患について、援助と対策構築しよう

- (1) 希望と勇気を患者に与える相談体制を
- (2) 世界の中でポリオ根絶までもう一歩の動きに支援を

## 2 ALSなど難病患者の方の生きる力と自立と就労などの支援

- (1) 遠隔操作型ロボット「OriHime」の導入活用の研究支援
- (2) 視線入力システムの導入活用の支援



OriHime (群馬県庁32Fカフェ)

### 第9 少子対策

加速度を付けて進む少子化。日本埼玉の成長を左右すると考えよ

#### 1 子育て支援制度、雇用政策などの政策パッケージで、ワーク・ライフ・バランスの向上図れ

- (1) 子育て支援ネットワークの構築
- (2) 長時間労働の是正など働き方の見直し
- (3) 不妊の問題は深刻になっている。補任治療助成の充実実施

### 第10 健康寿命を延ばす施策を推進

健康長寿の延伸、ひいては医療費抑制へ。「コバトン健康マイレージ」は、ウォーキングや特定健診の受信などでポイントが貯まり、抽選で賞品が当たるなどの楽しみながら健康づくりができる事業だ。事業参加者増加させるべき

#### 1 「健康長寿埼玉プロジェクト」の強力推進

- (1) 「埼玉県コバトン健康マイレージ」の発展、運用
- (2) 「埼玉県コバトン健康マイレージ」参加者拡大進めよ
- (3) 健康長寿サポーターの養成
- (4) 63市町村が実施する健康づくり事業への支援の継続

#### 2 受動喫煙防止対策の推進

- (1) 「埼玉県受動喫煙防止例」の普及啓発、認証制度の推進など実施せよ

### 3 保険者の予防健康づくり

医療費を押し止める視点から、2008年4月から制度がスタートした

- (1) 特定検診、特定保健指導の強化するため補助金継続せよ
- (2) データの活用などによる健康づくりの推進
- (3) 糖尿病性腎症などの重症化予防の枠組の整備

### 第11 高齢者への温かい支援を

世界で例をみないスピードで高齢化が進行している。埼玉県は全国一のスピードで高齢化が進む。エネルギーのある超高齢社会づくりをしなければならない。

高齢者が地域社会とつながり、自ら持つ豊かな知見や技術を生かして、活躍できる社会の実現を可能な限り居宅でずっと日常生活を送ることができるような基盤整備を進めよう

#### 1 高齢者のセカンドキャリアの支援

生涯現役社会の実現に向けた高齢者雇用支援を

- (1) 事業者へ各種助成金の制度の周知図れ
- (2) 70歳まで働ける企業の普及促進にむけた取組事例の紹介進めよ

#### 2 生きがいのある高齢者の多様な活動を支援せよ

生きがいを高め、健康づくりも進めるために、多様な社会参加の機会を提供していくことが必要

- (1) 市民団体やNPOなどの担い手の活動環境の整備
- (2) 文化サークル活動、健康づくり活動、社会奉仕活動などの老人クラブに対し助成を行い、その振興を図れ
- (3) 地域活動している60歳以上の割合が低迷している。向上目指せ。
- (4) ユニバーサルツーリズムの定着、普及を図れ
- (5) 海外支援活動の環境を整備せよ
- (6) アクティブシニアの社会参加支援せよ

#### 3 地域包括支援センターの構築支援

高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続することができるように、高齢者の生活を支える役割を果たす総合機関

- (1) 高齢者個人に対する支援の充実
- (2) その支援を支える社会基盤の充実
- (3) ケアラーへの支援
- (4) 在宅医療、介護の連携強化
- (5) 特別養護老人ホームの空床の解消に向け取組め

### 第12 認知症対策を総合的に推進せよ

現在、65歳以上の約16%が認知症であると推計されている。わが国では世界一の長寿国であり、認知症

と共に生きる高齢者の人口は今後も増加し、2025年には高齢者の5人に1人、国民の17人に1人が認知症になると予想されている

#### Ⅰ 認知症施策の推進

- (1) 認知症相談窓口の充実を図れ
- (2) 若年性認知症の支援
- (3) 認知症サポーターの養成進めよ
- (4) 医療従事者の認知症対応能力育成などの体制つくれ
- (5) 介護職員の認知症対応能力＝スキルアップ育成などの体制つくれ
- (6) 認知症の社会理解を広げる施策を進めること

### 第13 若者の孤立対策強化

人々のつながりが薄れた現代社会。若者の社会排除が目立ってきている

#### Ⅰ 若者の包括的な自立支援方策必要

- (1) 身近な支え手（ゲートキーパー）育成支援を
- (2) 家族の介護などを行うヤングケアラーの支援推進せよ
- (3) 増加している小中高校生の自殺対策を真剣に進めよ
- (4) 若者の孤独、孤立対策のために県庁内セクションの設置を検討せよ

### 第14 DV被害者を守る風潮を生み出せ

平成26年1月改正法である「配偶者暴力防止法」が施行された

#### Ⅰ 身体的、経済的、精神的、性的暴力DVなくす社会構築を

- (1) 安全確保、自立支援のため相談ホットライン充実せよ
- (2) 婦人相談センター機能充実せよ
- (3) DVシェルター運営支援（人件費の確保、人材育成）進めよ
- (4) 民間団体と市町村との交流促進など民間団体のDV被害者支援事業強固にせよ
- (5) DV被害者の自立支援を継続的にせよ
- (6) DV被害者に同伴する児童・生徒へ学習のチャンスを保障せよ

### 第15 自殺に追い込まれることを防げ

わが国は、平成10年以降、自殺者数が3万人を超え続けていたことを受けて、平成18年には「自殺対策基本法」が制定された。埼玉県は自殺者数全国4位、急ぎ効果ある自殺対策を

#### Ⅰ 自殺の予防と早期の対応

- (1) 心の相談室など相談窓口の周知
- (2) 相談しやすい体制整備
- (3) ネット上での相談体制整備、ケアへの支援
- (4) 企業のメンタルヘルスキアの取組に対する支援

### 2 子供、若者への自殺の予防と対応

日本の子供の自殺率はワースト1位。若者の死因の1位は自殺。多くの原因は「いじめ」「人間関係の不和」

- (1) 県・JR・鉄道会社などの共催での自殺防止キャンペーンの開催
- (2) 今もなお起こり続けているいじめを苦しめた子供の自殺防止のため、相談窓口の周知
- (3) 「SOSの出し方教育」など児童・生徒への自殺予防の教育
- (4) 誰もが迷っていることに気付くことが大切。ゲートキーパーの啓蒙



# 誇 / ホコリ

## 文化、スポーツ、教育、平和

「そこに行くと何か違う」  
「みんなに自慢したくなってしまふ」  
文化、スポーツ、教育。誇りのある埼玉県を！  
平和を尊び不戦の誓いを立てる埼玉県を！

### 第1 光放つ埼玉の史跡、遺跡

#### 1 史跡の保全

- (1) 忍城址
- (2) 吉見百穴
- (3) 小手指ヶ原古戦場
- (4) 伊奈氏屋敷跡

#### 2 遺跡の保全

- (1) 熊野神社古墳（古墳の上に神社がある）
- (2) 大塚古墳（周濠を巡らせた円墳。両袖型横穴）
- (3) 和同採掘遺跡（『続日本紀』にも記されている和同の採掘場）
- (4) 雷電塚古墳（墳長47mの前方後円墳）

### 第2 芸術・文化の彩り高めよ

#### 1 埼玉らしい芸術、文化の創造・発展・継承

- (1) 埼玉会館及び彩の国さいたま芸術劇場の特性を生かし、県民が優れた芸術作品を鑑賞できる機会を提供せよ
- (2) 蜷川レガシーの継承と新たな展開図れ
- (3) 県立博物館施設8館での開催事業の充実
- (4) 県内天然記念物の保全と情報発信
- (5) 埼玉古墳群など県が有する文化資源の魅力発信
- (6) 学校、公民館、障害者施設などで文化芸術を体験する事業の取組進めよ

#### 2 伝統芸能を守る

- (1) 国、県、市町村指定の無形文化財の保存
- (2) 国、県、市町村指定の民俗文化財の保存
- (3) 後継者育成や備品修繕・整備・管理などの助成

#### 3 文化財保存事業の推進

埼玉県には、寺社、古墳、祭りなど長きにわたり大切に守られてきた多くの文化財がある

- (1) 国・県指定文化財保護事業
- (2) 保存活動を担う優れた人材の確保
- (3) 他分野とのコラボレーション

#### 4 埋蔵文化財調査保存事業

土地に埋もれている埋蔵文化財は、国民または県民の共有財産。未来へ伝えなければならない

- (1) (公財) 埼玉県埋蔵文化財1059件の調査事業団への支援
- (2) 遺跡見学会などのイベントの充実図れ

### 第3 芸術・文化の向上に貢献した個人、団体を支援せよ

#### 1 顕彰し活動の広がり生み出せ

- (1) 下総統一音楽賞の充実
- (2) 知事賞の交付

#### 2 県内のアマチュア文化団体や無形民俗文化財の保存団体を支援せよ

- (1) 埼玉県文化振興基金の充実

### 第4 “知の森” 県立図書館を充実させよ

#### 1 県民のあらゆる知的要求に応える責任果たせ

- (1) 図書の収集
- (2) 逐次刊行物、電子資料、マイクロ資料などの収集、図書や資料のデジタル化の推進
- (3) 埼玉県に関する資料、図書などの収集
- (4) wifi 環境の充実
- (5) 映画会などのイベントの充実
- (6) 市町村図書館の支援

#### 2 視覚障害者（ロービジョン）の読書環境の整備

- (1) 点字図書館や他の図書館などの連携し、デージー図書などのアクセシブルな書籍を充実させよ
- (2) アクセシブルな書籍の拡充を図るため、新たな図書、点字図書館などを作成するべき
- (3) 県立図書館を県庁所在地さいたま市に設置する検討を

### 第5 誇らしい交通システムの実現

#### 1 次世代路面電車（LRT = Light Rail Transit）の導入

専用軌道比率が高く、また運節車 2、3 両程度連結して運行する形態が多い。道路交通に影響されない特性がある。

- (1) 脆弱なさいたま市東西交通アクセスの導入を研究すべき

#### 2 新都市交通システム・ニューシャトル伊奈線の充実と発展

大宮駅から内宿駅までを結ぶ案内軌条式鉄道（AGT）路線

- (1) 高運賃解消への取り組み
- (2) 終電の早さ解決への取り組み
- (3) 高齢者や身障者に不向きな同線大宮駅のアップダウンの多さの解消への取り組み

### 第6 世のため人のため生きた埼玉県人は郷土の誇り

県民の郷土に対する知識や愛着を醸造することは必要なこと

#### 1 三偉人の偉業の継承

- (1) 渋沢 栄一（明治・大正期に活躍した日本の実業家、財界指導者）の業績を称え、ゆかりの顕彰事業を実施せよ
- (2) 荻野 吟子（近代日本における最初の女性医師）の業績を称え、ゆかりの顕彰事業を実施せよ
- (3) 搞 保己一（江戸時代の国学者。『群書類従』666 冊を出版）の業績を称え、ゆかりの顕彰事業を実施せよ

#### 2 埼玉が生んだ偉人の認知度向上と偉業の語り継ぎ

- (1) 伊奈備前守忠次（利根川、荒川の付け替え普請）の業績を称え、認知度高める努力せよ
- (2) 本多 静六（林学者「公園の父」）の業績を称え、認知度高める努力せよ
- (3) 下總 統一（作曲家、作曲総数 1000 曲以上）の業績を称え、認知度高める努力せよ
- (4) 権田 愛三（「麦王」と呼ばれた農業生産者）の業績を称え、認知度高める努力せよ
- (5) 小嶋 登（「旅立ちの日に」作詞者）の業績を称え、認知度高める努力せよ

#### 3 本県ゆかりの偉人の広報

- (1) 偉人の生誕地、学んだ場所、働いた場所などゆかりの地（スポット）などの広報

### 第7 埼玉を元気にするスポーツを広げよ

誰もがスポーツに親しめるイベントを開催せよ

#### 1 パラスポーツの普及に力を入れよ

- (1) パラ競技を気軽に体験できる場所、施設の整備
- (2) パラスポーツ選手の育成強化と支援内容充実させよ
- (3) 県の障害者スポーツ大会（パラ競技大会）の発展
- (4) 小、中、高、大学生など学生を対象にした障害者スポーツ体験会の実施

#### 2 タンデム自転車振興



タンデム自転車

- (1) ホームページなどでスポーツ振興の立場からも、「公道での2人乗車可能」になったことを、県民や関係団体に周知すること
- (2) 県内イベントのあらゆる機会、例えば研修会、体験会を通じてタンデム自転車の楽しさを広めるべき

(3) 埼玉県サイクリング協会と手をつなぎタンDEM自転車を活用した県民のスポーツ振興策を図るべき

### 3 埼玉ゆかりのスポーツ、埼玉ゆかりの選手の応援

(1) 将来オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際競技大会で活躍するトップアスリートの発掘・育成・支援

## 第8 埼玉教育の充実

### 1 県公立高校の蘇生

(1) 高校と大学が協力して行う教育活動=高大連携を拡大させよ  
(2) 中途退学者数の抑止のためのきめ細かい指導を進めよ

### 2 県立高校再編

(1) 地域に愛されてきた高校であったことを考慮し、統廃合について意見交換を行いながら進めること  
(2) 統廃合の後は、短くない時間愛され歌い継がれてきた学校の校歌などをデータなどで残すべく配慮すること

### 3 県立高校施設整備

(1) 耐震化を進めるとともに、自動火災報知設備など、迅速に危機を通報できる警報設備  
(2) トイレ洋式化改修はもちろん、節水型機器の導入、排水再利用などの工夫  
(3) 空調の更新については、効率的かつ効果的な計画の下に進めること  
(4) 情報化や国際化の急速な進展に対応できる施設整備

### 4 グローバル人材育てるため国際バカロレア校設置の検討

明確なメリットは、国際バカロレア(DP)を取得すれば、海外の大学へ進学しやすくなるということ。

また、他者と協働しながら、教科の枠を超えて探求する姿勢を身につけることができ、

英語などの外国語を使った授業が多いために語学力のアップが期待される。さらに国際的な視野をもつこともできる。

(1) 国際バカロレアの研究・検討早急に進めよ

### 5 差別を拒む教育の推進を

人を差別することなく、教育の格差なき教育を推進せよ

(1) 人を差別することなく、教育の格差なき教育を推進せよ、人権問題解決のため、啓発広報活動を  
(2) 人権教育を促進のため「人を大切にす心や態度を育む」教育を進めること  
(3) ジェンダーを身につける教育推進を

## 第9 生きる力

### 1 豊かな学力の育成

知識や技能だけでなく、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく

問題解決する

(1) グローバル人材の育成  
(2) 小中学校外国語教育の推進と充実  
(3) ICTを活用した教育の推進  
(4) 世界最高速の計算ツールであるそろばん教育を充実させよ



### 2 信頼を著しく損ねる教育現場での不祥事防止せよ

(1) 公益通報制度のさらなる活用のための制度を整備せよ  
(2) 「公益通報者保護法」に基づいて、通報者を不利益な扱いから保護せよ  
(3) 不祥事を起こさせない職場づくりに努力を傾けよ

### 3 障害の有無に関係なく配慮を受けて学べる小中学校に

(1) インクルーシブ教育の推進

### 4 特別支援教育の充実

学びの機会、学びの楽しさを広げよ。共生社会の形成を社会参加を目指す特別支援教育

(1) 小中学校の通常学級の発達障害の可能性児童・生徒は10.7%。指導支援体制の充実  
(2) 市町村教育委員会と連携協力し、特別支援学校の児童・生徒が小中学校にも籍を置く「支援籍」の実施推進せよ



OriHime

- (3) 「けやき特別支援学校」におけるテレプレゼンスロボット OriHime の複数台導入と活用
- (4) 病気を理由に長期欠席をしている児童35人、生徒1,518人の配慮
- (5) キャリア教育・職業支援の充実
- (6) 特に肢体不自由特別支援学校の生徒の通学負担軽減のため、スクールバス運行の増便
- (7) 教室不足の解消

### 5 夜間中学の増設、充実

どんな人にもチャンスはある

- (1) 公立夜間中学校の整備、さらにさいたま市内での増設に支援を

### 6 臨時的任用教員

- (1) 定数内の臨時任用教員が多い現状を計画的に比率を下げていくべき

### 7 外国人親子を孤立させない施策進めよ

- (1) 学校から発行される「たより」などの翻訳支援
- (2) 地域と交流をするしかけ
- (3) 日本語学習の補助機材の充実

### 8 外国人親子を孤立させない施策進めよ

生活圏が広がった小学生の生活を支援する役割を学童は果たしている

- (1) 補助金の充実
- (2) Wi-Fi の設置進めよ
- (3) 適正に支援員を配置できるように取り組み

### 9 朝鮮学校の補助金を支出せよ

- (1) 埼玉弁護士会会長声明を受け止め、差別的取り扱いをすること止めよ

## 第10 「入試」の公平性を高めよ

### 1 正答率に注目せよ

- (1) 県公立高入試における各科の正答率などに注視し、問題作成過程を検証すべき

## 第11 「埼玉発世界行き」奨学金制度、より充実させよ

平成29年から、志高い日本人学生の留学を支援するため、企業や個人などの厚意により設置された

### 1 奨学生の募集

- (1) 挑戦心があり、課題解決能力が高い者を積極的に海外へ送れ

### 2 奨学金への応募検討者へのプロデュース

- (1) 全11コースの周知を丁寧に進めよ

## 3 奨学生の就職支援

- (1) 埼玉県の企業に就職するなどの誘導支援策を構築せよ

## 第12 平和は大切

### 1 「半旗」を示し内外に強く平和の意思表示せよ

国においては、8月15日は、国立の施設には半旗を掲げることとし、地方公共団体とも同様の措置をとるよう推奨している

- (1) 8月15日終戦の日は半旗を揚げ、反戦の意思表示をし、戦没者を追悼せよ
- (2) 3月11日には東日本大震災で失われた方々の御霊に哀悼の意を表せ



半旗

2 硫黄島で収集された御遺骨は、航空自衛隊入間基地に到着される。知事出迎えよ  
県議会平成28年6月定例会での上田清司・前知事答弁を生かせ

- (1) 知事自身が御遺骨を出迎えるための調整を進めよ

### 3 戦争体験者の声を次代へつなげよ

- (1) 戦没者追悼式の充実
- (2) 戦争体験者などの伝承と記録の整理

# 緑 / ミドリ

## 環境、農林水産、公園

「いま地球は重病だ」の認識

忘れがちでないか!?

あらためてスクラム組んでつくろう「CO2削減・循環型社会」を!

埼玉ブランドの農林業を守り、育てよ

心が豊かになる公園を整備せよ

### 第1 地球環境を守るために脱炭素社会へ

#### 1 県環境科学国際センター（CESS）の充実を

環境学習、試験研究、国際貢献、情報発信の4つの機能を有する環境科学センター

- (1) 「気候変動適応センター」の充実
- (2) 地球規模の課題に対応する国際貢献プログラムの充実
- (3) 環境学習のリーダーを育成
- (4) 環境について学ぶ「彩の国環境大学」などでの環境保全リーダーを育成
- (5) 情報収集、研究、分析など通じた情報発信

#### 2 中小企業 CO2 排出削減・省エネルギー支援策強固なものに

- (1) 省エネ設備の導入補助制度さらに充実させよ
- (2) 省エネルギー対策の講演会の開催
- (3) CO2 目標通り削減できない場合のペナルティ（罰金など）与えよ
- (4) 設備など CO2 削減の取り組みの金融面での後押し
- (5) 取組内容や取組成果など中小企業の先進的な事例紹介を推し進めよ
- (6) CO2 排出量の「みえる化」進めよ

#### 3 家庭 CO2 削減・省エネルギー支援策強固なものに

- (1) 家庭用燃料電池（エネファーム）などの導入の支援
- (2) 家庭用蓄電池などの導入の支援
- (3) 外装塗装（遮熱、断熱）の補助制度を充実させよ

#### 4 分散型エネルギー利活用設備の普及進めよ

- (1) 小水力発電設備や地中熱利用システムなど再生可能エネルギー利活用の設備設置支援
- (2) コージェネレーションシステムの設備支援
- (3) 業務用、産業用燃料電池の導入の支援

#### 5 脱炭素へ次世代技術開発後押し

ものづくりの復権を目指せ

- (1) 次世代自動車（EVバス、EVタクシーなど）の普及支援せよ。普及割合を高めよ
- (2) 公用車の次世代自動車率先導入せよ
- (3) 充電インフラの整備進めよ

#### 6 「雨水浸透ます、雨水浸透管など流域浸透事業」始めよう

市街地や道路での水を地下に浸透させ、既存の河川・沼への負荷を下げさせよう

- (1) 戸建て住宅での利用法
- (2) 公園での利用法

(3) 公共的施設での利用法

(4) 学校での利用法

## 7 「雨水貯留事業」始めよう

(1) マンションなどの集合住宅における整備を進めよ

(2) 市街地再開発事業、公益住宅整備事業などにおける整備を進めよ

## 8 治山施設、保安林の整備

### 第2 豊かな水とみどりを守り抜く

#### 1 清冽な水を守れ

(1) 「井戸・湧水復活再生事業」スタートさせよう。地下水を涵養し、「揚水・取水施設整備」し、遊歩道、水路などを整え、憩いの空間つくろう

(2) 昔からの湧き水ポイントで涸れているものの再生政策進めよ

#### 2 農業用水路の整備

河川などから取水され用水路を経て水田に貯えられる地域の環境や景観を創出している。また健全な水循環を形成し災害の軽減の役割も果たしている

(1) 環境と調和した護岸整備

(2) 遊歩道の整備

#### 3 埼玉は川の国。河川の水質保全に向けた活動進めよ

(1) BOD（生物化学的酸素要求量）にみる改善を進めよ

(2) 川の国応援団の活動支援

(3) SAITAMA リバーサポーターズで、川の共生・保全のリーダー育成せよ

(4) 水辺空間の利用活用の創出

(5) 合併浄化槽への転換へ取り組み

#### 4 身近な緑を創り出そう

著しい都市化の進展や営農環境の変化などで、見沼田圃に対する開発の圧力が増してきている。

首都近郊に残された大規模緑地空間として、見沼田圃を保全すべき。里山保全のために努力を注ぐべき

(1) 建築物や地面の温度低減、また鳥類・昆虫類等の飛来など生物相の回復に効果を発揮する。建物敷地内にとどまらず屋上、壁面、駐車場などの緑化の推進、助成より進めよ

(2) 小さい頃より緑にふれあうことにより、緑を愛する心を育むことができる。小学校、中学校、幼稚園、保育所などの校庭、園庭の芝生化の推進・助成より進めよ

(3) 見沼田圃の保全と活用

(4) 見沼田圃の公有化率高めよ

(5) 見沼田圃周辺斜面林の保全を進めよ



見沼田圃

#### 5 森林整備進めよ

CO<sub>2</sub>の吸収、貯蔵や水源のかん養機能を確保できる、豊かな森林づくりを

(1) 緑のトラスト保全地の保全と活用

(2) 平地林の保全と活用進めよ

(3) 「みどりの活動支援補助事業」をさらに拡充せよ

(4) 「彩の国みどりのサポータークラブ」をさらに拡充せよ

(5) 市民団体などが行うみどりの保全管理活動の支援を

(6) 県産木材の利用促進せよ

(7) 森林を皆伐した後、跡地への植栽から保育まで一貫して行う組織を支援せよ

#### 6 街路樹の充実

まちなみの統一感を創出し、沿道景観に彩り、季節の香り・うるおいをもたらす。緑陰をつくり夏の日差しを和らげ、周囲の気温上昇を抑えることでヒートアイランド現象の緩和にも寄与する



街路樹

(1) 10年後を見据えた植生の再構築を

(2) 防災の観点からも、延焼を防ぐための地帯に街路樹形成せよ

(3) 国道463号（志木市～所沢市）のケヤキ並木整備進めよ

(4) 国道254号（新座市、三芳町、ふじみ野市）の整備進めよ

(5) 県道さいたまふじみ野所沢線（三芳町）の整備進めよ

(6) 県道六万部久喜停車場線（久喜市）の整備進めよ

- (7) その他の路線の整備進めよ
- (8) 街路樹の植樹帯幅員 1.5 mの再検討を急ぐべき
- (9) 中低木の枝伸びや雑草繁茂などの苦情対応

### 7 地籍調査事業の促進 ※企画財政部土地水政策課

土地登記簿及び公図の多くは、明治時代に作成された字限図（あざかぎりず）などを基に作成されている。現状の境界や面積と一致していない場合が多い

- (1) 境界トラブル未然防止のため、地籍調査進めよ
- (2) 市町村の地籍調査を促進するための準備費用（予算・測定方法の選定）を県が支援せよ

### 8 希少野生動植物の保護

生物の種は生命の長い歴史の結晶だ。一つ一つの種の絶滅から守っていくことが大切

- (1) 指定する 22 種（動物 3 種、植物 19 種）などの巡視を強め、保護・増殖進めよ
- (2) それ以外の動植物の状況も観察せよ
- (3) 県の魚ムサシミヨの生息環境の保全を確かなものに

## 第3 循環型社会づくりの整備

### 1 捨てられていた熱を有効利用。廃熱を生かそう

- (1) 工場、発電機などからの熱供給を
- (2) 固形燃料の製造、バイオガス発電など下水処理施設から発生する汚泥のエネルギー活用
- (3) 熱の取り込み（=回収）のための技術研究を
- (4) 農山村に存在する家畜排せつ物、稲わら、麦わら、もみ殻、食品残さなどのバイオマスを堆肥などに利用せよ

### 2 下水汚泥は大量に発生する。有効活用を進めよ

- (1) 固形燃料の製造、固形燃料化施設の導入
- (2) バイオガスを活用した発電施設でクリーンエネルギーを作り出せ
- (3) 焼却炉の廃熱利用進めよ
- (4) 「下水汚泥処理の共同事業に関する協定」の多元化求める

### 3 産業廃棄物の適正処理を推進させよ

- (1) キャンペーンを行い、民間企業などの協定締結を濃密なものにし、不法投棄を許さない姿勢貫け
- (2) PCB廃棄物の期限内適正処理真剣に進めよ

### 4 食品ロスの削減を推進せよ

持続可能な循環型社会をつくり上げるため、食品ロスに向け努力を傾けよ

- (1) 「もったいない」意識の定着

- (2) 家庭系食品ロス排出量の抑制を進めよ
- (3) 事業系食品ロス排出量の抑制を進めよ
- (4) 食品ロス削減を果たした優良事例の公表し発信せよ
- (5) フードバンクやフードパントリー、子ども食堂などでの活用の方針
- (6) 入れ替えにより、災害用備蓄食品の一定の役割を終えたものを、フードバンク団体などへの提供する道すじつけよ

## 第4 アスベスト対策の充実

### 1 石綿（アスベスト）の大気環境への影響に注視せよ

- (1) 平常時における石綿の飛散防止のため、繊維数濃度調査継続を
- (2) 災害時には石綿の飛散や曝露が懸念される。モニタリングを実施する体制を整備せよ

## 第5 公害のない安全な大気環境の創造

### 1 「埼玉県生活環境保全条例」の認知度を高めよ

- (1) アイドリング・ストップの啓蒙と指導

### 2 エコドライブの推奨、低燃費車の導入を事業者へ求める取組と誘導策

## 第6 埼玉県農林水産業を振興させよ

### 1 農林水産物の安定供給

- (1) 農地の区画拡大や水道路整備などによる農地生産基盤の整備を推進せよ
- (2) 生産、流通、販売などの体制の整備進めよ
- (3) 環境負荷の低減を図られるS-GAPの普及拡大などにより、消費者の信頼を確保せよ
- (4) スマート農林水産業技術の開発・実施・普及
- (5) 新技術・新品種の研究開発
- (6) 化学農薬・化学肥料の使用減の取組進め、環境保全型農業を振興せよ

### 2 埼玉自慢のブランドフルーツを支援せよ

埼玉ブランドフルーツの創出、取扱量を増やし需要の拡大を

- (1) 彩玉（さいぎよく・梨）は、糖度 13～14 と甘みが特徴。1玉当たり平均 550gだ。ブランド力の強化を
- (2) ちちぶ山ルビー（ぶどう）は、細長い楕円形の粒が特徴。糖度 17 以上だ。ブランド力の強化を
- (3) イチジクは、ほどよい甘みとプチプチとした食感が特徴。ブランド力の強化を
- (4) あまりん（イチゴ）、かおりん（イチゴ）、ベニタマ（イチゴ）のブランド力の強化を

### 3 歴史ある埼玉県の代表的な農産物を支援せよ

- (1) 紅赤（1898年さいたま市発祥のさつまいも）の栽培支援
- (2) 丸系八つ頭（さといも）の栽培支援

(3) 彩のかがやき、彩のきずな（埼玉県の作付け約 80%を占めている米）の栽培支援

(4) 狭山茶（茶）の栽培支援

#### 4 最も基本的で重要な糧である「県産米」の生産対策進めよ

(1) 原種などのリスク管理体制の構築

(2) 原産米の販売促進と消費拡大を支援せよ

#### 5 全国に名を知られる「狭山茶」の販売拡大目指せ

(1) 販売促進事業を実施せよ

(2) 需要創出事業を実施せよ

(3) 海外へのPRや商談を通じて、販路を拡大せよ

#### 6 植物肉（vegerable meat）の開発に目を向けよ

世界の市場規模は現在 2,570 億円、10 年で約 7 倍の 1 兆 9,000 億円程度のまで成長すると予想されている。動物肉を媒介とする感染症リスク、健康志向も背中を押す

(1) 研究と開発への取組

(2) 学校給食をはじめとした市場の開拓

#### 7 県林業を発展させよ

(1) 県産木材（＝西川材）利用して、庁舎、図書館など公共建築物を建築すべき

(2) 林内路網の整備により、木材生産コストを図れ

### 第7 リスクに対応するため、危機管理体制を強化せよ

#### 1 特定家畜伝染病防疫体制強化し、予防対策、防疫に向けた危機管理体制の強化せよ

(1) 応急的対応の準備策け

(2) 慢性疾病対策確実なものにせよ

#### 2 鳥獣被害、特定外来生物による被害の防止を

(1) 被害を減少させるための方策研究の支援

### 第8 県営公園整備の推進

#### 1 特色ある県営公園の準備

(1) 大宮公園

(2) 熊谷スポーツ公園

#### 2 公園内の緑地の保全、再生

(1) 老朽化した樹木の対策として枯損木や枯枝の除去、桜苗木の植栽を進めよ



# 守 / マモリ

## 危機管理防災、警察

災害の多い国、日本、埼玉県リスクを知って備えよう。刑犯法の認知件数は18年連続で減少している一方で、再犯者の比率は上昇し、検挙人数の約半数が再犯者となっている。犯罪を未然に防ぎ、命や財産を守ることはもちろん必要。また再犯の防止も社会的にこれまた必要。消費者守れ。

### 第1 災害に備え危機管理体制を構築せよ

歴史的に繰り返し発生している。今後想定される首都直下型地震などへの備えを固めよ

#### 1 県公式ホームページの即応性を高めよ

- (1) 信頼される「緊急情報」をスピーディーに更新し続けるべき
- (2) 県民が情報を強く求める鉄道情報はリンクを貼るべき
- (3) 「緊急情報」のバナーを緊急時には最上部へ移動させよ

#### 2 県内市町村への災害救護の支援

災害時、市町村を孤立化させないコントロールタワーとしての役割を県は果たせ

- (1) 「避難行動要支援者名簿」作成の支援
- (2) どのように支援させるかを決定しておく「個別計画」作成の支援
- (3) 「埼玉県地域防災計画」にある、カセットコンロ、太陽光発電機、投光器など支援内容の充実させよ
- (4) 市町村孤立化地域での生活必需品（ミルク、お粥、離乳食、アレルギー食などニーズに合わせた食料、大型ビニール袋、ウェットティッシュ、スマホのバッテリーなど生活用品）などの備蓄補助せよ
- (5) 車中泊避難者への物資の提供

### 第2 災害情報の収集と避難情報の発信

#### 1 SNS 災害情報分析システム構築せよ

twitter 上に寄せられた情報を集約し、AIにより分析し、災害対策へ活用

- (1) 情報の収集、集積
- (2) 情報を市町村や消防などの機関に提供

#### 2 降雨量などの防災情報の収集し浸水予想をきちんと立てよ

川の氾濫、浸水などの予想で「いつか」に備えよ、目視では危険

- (1) レーダー雨量からの情報提供
- (2) 河川カメラ画像や映像の情報提供
- (3) 危機管理型水位計による水位警戒情報の提供体制整えよ
- (4) 浸水の恐ろしさを体験できるAR技術を使ったアプリ「ARお天気シミュレーター」の活用進めよ
- (5) 水害の歴史の伝承と記録の整理

### 第3 大規模災害に対する事前の構え

#### 1 洪水浸水想定区域などの活用

- (1) 豪雨による洪水被害の危険周知が役割である、洪水ハザードマップの改定、新規作成を加速させよ
- (2) 浸水リスクをデータとして集積せよ
- (3) まちづくりの水害対策への活用進めよ
- (4) 学校教育への活用
- (5) 不動産取引、賃貸契約時に水災害リスク情報の提供

## 2 応急給水活動の体制が整うまでの「水の確保」の必要性啓蒙

- (1) 水道水備蓄の啓蒙
- (2) 生活用水確保の啓蒙

## 3 災害情報の把握

- (1) リアルタイムな映像情報の共有と分析
- (2) ドローン、防災ヘリによる被害情報・災害情報の収集

## 4 大地震などにおける道路の確保

県内橋りょうは、20年後には建設後50年となるものが約8割

- (1) 橋りょうの多くは急速に老朽化する。点検・修繕・更新、耐震補強を進めよ



老朽化した橋梁の架換え（上武大橋）



地震対策で橋の耐震補強（新浦和橋）

- (2) 施設の耐震化や老朽化対策
- (3) 地震、台風などで電柱が倒壊する可能性がある。道路閉鎖が起きれば、避難、救急活動が出来なくなる可能性がある無電柱化を推進せよ
- (4) 必要性が乏しくなっていたり、歩行者や障害者の横断を阻害する歩道橋の撤去の検討するべき
- (5) スピード感のある復旧事業
- (6) 緊急輸送道路のネットワークを確保するための整備
- (7) 緊急輸送道路下のマンホール浮上防止対策工事

## 5 避難所・応急仮設住宅などの充実強化を進めよ

- (1) 市町村避難所の情報（開設、閉鎖）の適時、的確な SNS を発信する体制を構築
- (2) 市町村避難所の混雑状況の SNS 発信
- (3) 感染予防対策の強化
- (4) 必要資機材の備蓄
- (5) 避難所のプライバシーの確保
- (6) 避難者のメンタルケア
- (7) 簡易ベットの派遣体制の構築
- (8) キッチンカーの派遣体制の構築
- (9) 簡易トイレの派遣体制の構築

- (10) 応急仮設住宅は、雇用創生、優れた住居環境の観点からも木造での建設を行うべき

## 6 長期停電・通信障害の対応

- (1) 電気・通信設備の復旧作業の迅速化のためバックアップ電源の確保
- (2) 病院・高齢者施設など優先的に電力復旧すべき最重要施設のリスト出し

## 7 自主防災組織の強化

- (1) 自主防災組織の設立を促進せよ
- (2) 消火器などの防災資機材の購入のための助成するなど、組織の防災力を強化せよ
- (3) 研修や訓練を支援するなど組織の活性化を図れ

## 8 ブロック塀などの安全対策に対する支援進めよ

- (1) 危険ブロック塀撤去費の補助制度支援進めよ
- (2) 県道や通学路などに面した危険ブロック塀の撤去注意に向けた注意喚起、啓蒙活動進めよ

## 第3 災害時応援協定をより強固なものにせよ

### 1 民間企業との協定を進め深化させよ

- (1) 医療救護
- (2) 食料、飲料など物資の供給
- (3) 搬入搬送業務
- (4) 情報の通信
- (5) ガス、水道、電気などの復旧活動

### 2 国との協定により強固なものにせよ

- (1) 全国知事会からの支援
- (2) 政府からの支援

### 3 地方自治体との協定により濃密に深化させ被災者支援などに結びつけよ

- (1) 人材の派遣、活用
- (2) 物資の調達

## 第4 空を飛び急行し命を救え

### 1 防災ヘリコプターなどの救急業務の推進

- (1) 山火事や野火での消火活動での活用
- (2) 負傷者の救急輸送に格段の力を発揮する災害ヘリの活用
- (3) ドクターなどの同乗する救急事案での防災ヘリの活用
- (4) 支援活動する県警察ヘリの活用



埼玉県防災ヘリコプター

(5) ドローンの運用を進めよ

## 2 ドクターヘリコプター、ドクターカーの救急業務の推進

(1) 交通事故などの重傷患者の命を救うために活用

## 第5 防災意識の向上

災害時の被害軽減を図れ

### 1 消防防災ヘリコプターなどの救急業務の推進

- (1) 研修の充実を図り、対応力向上を目指せ
- (2) 訓練の充実を図り、対応力向上を目指せ
- (3) 防災資機材の整備、充実強化を図れ

### 2 防災学習進めよ

- (1) 防災学習の支援
- (2) 防災学習リーダーの育成

## 第6 犯罪を未然に防げ

犯罪抑止へ力を注ぎ、犯罪を食い止める

### 1 犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを

- (1) あいさつの励行など、犯罪をしようとする者を地域に入りにくくさせる「領域性」を高めよ
- (2) 防犯カメラの設置・自主防犯パトロールなど、犯罪を思いとどまらせるための「監視性」を高めよ
- (3) 外出時は施錠するなど、犯罪に対する抵抗力を強くする「抵抗性」を高めよ
- (4) 特殊詐欺対策の徹底

### 2 地域を見守る 防犯サポーター制度の充実

- (1) 応募の簡便さのために工夫を

## 第7 交通事故の抑止

### 1 高齢者の歩行者事故・児童幼児の歩行安全対策

- (1) 移動手段の保障（シルバーサポート制度）など高齢者ドライバーの自主返納の支援を

(2) 高齢運転者への安全運転啓発

(3) 「横断の仕方」の教育の推進

(4) 通学路等の道路標識の設置など合同点検の実施

## 2 自転車事故対策

(1) 自転車レーンの整備を順調に促進させよ



タンデム自転車

(2) タンデム自転車公道走行可能を受けた事故対策徹底せよ

## 3 交差点などの安全確保

- (1) 歩車分離式信号の設置促進
- (2) 信号柱などの倒壊防止
- (3) 信号機の新設
- (4) 信号機の計画的な更新、LED化の推進
- (5) 老朽化した道路標識の更新
- (6) 摩耗した横断歩道などの道路標識の更新

## 第8 警察能力の高度化進めよ

### 1 サイバー捜査の高度化図れ

- (1) サイバー人材の採用進めよ
- (2) サイバー犯罪調査人材の育成進めよ

## 第9 再犯の防止に総合的に取り組み

### 1 更生に向けての支援

検挙人数に占める再犯者人数の比率は一貫して上昇し続け、令和元年には50.1%になった。

犯罪が繰り返される社会構造を変えるために行政は関与せよ

- (1) 立ち直りを助ける「協力雇用主」は重要。就労を確保せよ
- (2) 再犯防止を支える保護司など民間ボランティアの活動支援
- (3) 高齢者、障害者などへの支援
- (4) 入居を拒まないセーフティネット住宅の登録促進をするなど住居確保を支援せよ

(5) 警察職員、警察職員OBなどによる非行防止教室の開催

**第10 信頼を著しく損ねる警察の不祥事防止せよ**

(1) 不祥事案を認知した場合の速やかな報告

# 巡 / メグリ

## 産業、県土整備、都市整備

埼玉県内産業振興は自立自尊埼玉のエネルギー  
商業・先端産業を振興させよ  
道路ネットワークはそのための血液  
女性活躍の土壌をつくり、社会に活力を取り戻せ  
観光立県を目指せ

## 第1 時代の要請に応えた中小企業・小規模事業者の支援策推進させよ

### 1 感染症の影響を受け打撃状況の中小企業、商店などの事業継続を支援せよ

- (1) 資金繰り対策進めよ
- (2) 雇用維持対策進めよ

### 2 今後成長が見込まれる産業分野の育成

- (1) ナノカーボン、医療イノベーション、ロボット、新エネルギー、航空、宇宙などの先端産業の研究開発支援せよ
- (2) 市場規模が伸びているフードデリバリーサービス支援せよ

### 3 商店街振興の推進

商店街は街のエネルギー源。商店街売上や来客数アップによるにぎわいの回復に向け、市町村自治体、商工会議所、商工会とスクラムを

- (1) エコバックの利用促進、省電力の街路灯などの環境保全に向けた取組を実施する商店街を支援せよ
- (2) 商店街空き店舗出店者への支援
- (3) 商業に関する実践的な講座の開催
- (4) 法に基づく出店などの相談受付を協議
- (5) 法に基づく諸届出の縦覧や意見の聴取

### 4 中小企業の実業継続に向けた支援

感染症の拡大、地震、台風などの自然災害、テロなど、どんな緊急事態に遭遇しても中小企業が生き抜くための準備が必要

- (1) 中小企業BCP（事業継続計画）策定のための支援せよ

## 第2 商業・サービス・技能産業の育成

### 1 商業・サービス・技能産業を担う人材の育成

- (1) デジタル技術を活用できる人材の育成に取り組め
- (2) 生産性や収益性の改善を図る経営革新の取組を支援せよ
- (3) 「全建総連全国青年技能技術大会」への選手派遣支援せよ

## 第3 ウーマノミクス

### 1 女性活躍のための働き方改革の支援

- (1) 男性育児休業などの取得促進キャンペーンなど男性の意識改革の促進
- (2) テレワークの推進など、働き方改革の推進と支援
- (3) 男性社員を対象とした研修への講師の派遣

## 2 女性が働きやすい環境の整備

- (1) 男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を「多様な働き方実践企業」などとして認定または表彰するなど、多様な働き方の推進せよ
- (2) 企業内保育所の設置の推進をせよ
- (3) 地方公共団体内保育所の設置を推進せよ
- (4) 男女が共に仕事と子育て等を両立できる環境の整備進めよ

## 3 女性の起業など再チャレンジに向けた支援

- (1) 創業・ベンチャー支援センター埼玉において、起業を総合的に支援せよ
- (2) 優れたビジネスプラン、ビジネスアイデアを表彰する制度をつくれ
- (3) 活躍応援ポータルサイトを開設せよ

## 第4 先端産業の推進

我が国の経済はその地位をダウンさせている。科学技術のイノベーションは経済再生の原動力。埼玉県を「最もイノベーションに直した県」とすることが必要

### 1 デジタルテクノロジー活用の推進

- (1) 県内製造業のデジタル化支援
- (2) デジタルものづくり人材育成
- (3) 先端産業支援センター埼玉（新都心ビジネス交流センター内に設置）の支援

## 第5 産業団地の整備進めよ

雇用創出や地域の経済活性化を図れ

### 1 整備内地区

団地名	事業期間	施行面積 (ha)
1 松伏田島地区	H30～R3	18.3ha
2 川越増形地区	H30～R3	16.8ha
3 寄居桜沢地区	R1～R3	13.3ha
4 羽生上岩瀬地区	R1～R3	7.2ha
5 富士見上南畑地区	R1～R3	19.1ha
6 鴻巣箕田地区	R1～R3	17.1ha
7 行田富士見拡張地区	H30～R4	7.0ha
8 嵐山花見台拡張地区	H30～R4	9.1ha

## 第6 埼玉県の血液である道路ネットワーク充実させよ

充実した高速道路網などの交通インフラの充実のために努力結集せよ

### 1 上尾道路の充実

- (1) 上尾道路Ⅱ期区間(圏央道桶川北本インターチェンジから鴻巣市箕田まで) 9.1kmについては、早期供用が図れるよう、速やかに用地買収及び工事を進め、一層の事業推進を図ること
- (2) 圏央道へ至る上尾道路Ⅰ期区間(さいたま市西区宮前町から圏央道桶川北本インターチェンジまで) 11.0kmについては、全線4車線化供用に向け、更なる事業推進を図ること
- (3) 本路線の特性を踏まえ、物流上重要な道路輸送網として重要物流道路に指定すること

## 2 県道越谷野田線及び国道463号の交通量の緩和

- (1) 県道浦和野田線の建設促進及び野田橋の4車線化

## 3 幹線道路のネットワーク整備を

- (1) 国道17号(与野大宮道路)の整備
- (2) 国道17号(本庄道路)の整備

## 4 埼玉県緊急輸送道路の整備を進めよ

大規模な地震などの災害が発生した場合、救急活動や物資輸送を行うために必要

- (1) 第一次特定緊急輸送道路(高速道路や国道など4車線道路とこれらを補完する広域幹線道路)の整備
- (2) 第一次緊急輸送道路(地域間の支援活動としてネットワークされる主要路線)の整備
- (3) 第二次緊急輸送道路(地域内の防災拠点(県庁舎、市町村舎、災害拠点病院、防災基地など)を連絡する路線)の整備

## 第7 良好な道路環境の整備を進めよ

### 1 美しい道路景観の形成

- (1) 地域と連携した道路の美化・清掃
- (2) 電線類の地中化により美しい街路の整備
- (3) 街路、標識、サインなどの劣化の調査、整備、新設



錆だらけの標識(浦和区・大原陸橋(東)交差点)

### 2 住みよい生活安全を進めよ

- (1) 遮音壁、低騒音舗装などの道路騒音低減を進めよ

## 第8 県土を守る治山・治水事業推し進めよ

### 1 河川改修、調整池の整備

### 2 浸水被害対策

### 3 治山施策、保安林の整備

- (1) 崩壊を防いだり、崩壊した斜面を森林に戻すために山腹工の実施
- (2) 渓流周辺の浸食・崩壊を防止し、下流への工砂流を防ぐ溪間工の実施
- (3) 人工針葉樹林の森林整備を緊急課題として進めよ

## 第9 道路整備事業検討のためビッグデータを活用せよ

平成19年12月に、埼玉県とHondaは「道路交通データ提供に関する協定書」を締結した

### 1 急ブレーキ多発地の安全対策、渋滞ポイント対策、交通量分析を活用すべき

## 第10 実際に埼玉県へ来訪していただく入口としての政策推進

多様な演出でアピールできるプロモーション動画は、観光誘致に欠かせないマーケティングツール

### 1 YouTubeなどを活用した埼玉県への観光客誘致の推進

- (1) アニメの舞台となった地域(=聖地)を活用した誘致
  - ・神様はじめました(川越市)
  - ・クレヨンしんちゃん(春日部市)
  - ・あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない(秩父市)
  - ・ばなにゃ(所沢市)
- (2) 県が有している文化資源、天然記念物などの国内、世界への情報発信
- (3) 埼玉県偉人の偉業などヒューマンストーリーの国内、世界への情報発信

### 2 eスポーツを活用した観光振興

- (1) VTuberを選定、活用し、県の観光の魅力を効果的に伝え、誘客につなげる
- (2) 最優秀VTuberを表彰せよ
- (3) 民間主催のeスポーツイベントと手を結び、大会会場での埼玉プロモーションの実施

編集・発行 埼玉県議会議員 浅野目 義英

# あさのめ事務所

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷2-7-8

電話 048-762-7133 FAX 048-762-7144

[urawajimu@asanome.com](mailto:urawajimu@asanome.com)

PROMISE WITH YOU